

平成27年度第1回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議 「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」の概要について

平成27年度第1回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」を平成27年7月28日に開催しました。

推進会議には、6名の委員のうち4名の委員にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして特定非営利活動法人Mブリッジ理事長の米山 哲司様にご出席いただきました。

なお、推進会議の概要は、以下のとおりです。

「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

敬称略、50音順、カッコ書は役職

川北 輝（特定非営利活動法人津市 NPO
サポートセンター理事長）

高橋 幸照（水土里ネット立梅用水事務局長）

中村 勇索（公益社団法人みえ犯罪被害者総
合支援センター事務局長）

和田 京子（特定非営利活動法人伊賀の伝丸
代表理事）

<ファシリテーター>

米山 哲司（特定非営利活動法人Mブリッジ
理事長）

<推進会議の進行概要>

会議の大まかな進行は次のとおり



開会 13:30

戦略企画部部長あいさつ

1 平成26年度の取組状況について

- ・平成26年度第3回推進会議の概要
- ・平成26年度推進会議（全体）の状況

2 平成27年版成果レポートマネジメントシートについて

3 平成27年度推進会議の進め方について

4 協創プロジェクト事業概要について

- ・平成27年度県民力を高める絆づくり協創プロジェクト事業概要

5 学生が参加する地域活動情報の一元化について

6 意見交換

- ・県民力を高める絆づくり協創プロジェクト推進会議の成果について

閉会 15:30

（戦略企画部部長あいさつ）

竹内 望戦略企画部長から、今回の会議の目的等について説明いたしました。

1 平成26年度の取組状況について

- ・ファシリテーターの米山さんから平成26年度3回の推進会議の概要を説明いただきました。
- ・新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議（全体）の開催状況を事務局より説明しました。

2 平成26年版成果レポートマネジメントシートについて

- ・事務局より説明しました。

3 平成27年度推進会議の進め方について

- ・事務局より説明しました。

4 協創プロジェクト事業概要について

- ・プロジェクトの平成27年度事業概要を各課から説明しました。

5 学生が参加する地域活動情報の一元化について

- ・所管課より説明しました。

【委員からの意見】

開かれたいい仕組みである。地域のさまざまな主体についても参画することができる、広がりが出てよいと思う。



6 意見交換

県民力を高める絆づくり協創プロジェクト推進会議の成果について

委員から出された主な意見は、次のとおりです。

県民が地域活動に参画する上で、中間支援組織が大事だということを再認識できたことが大きいと思う。伊賀市と多文化共生サポーターづくりに取り組んでいるが、こうしたNPOやボランティア活動の情報を提供できる「学生地域活動支援センター（仮称）」という成果につながったことはとてもよかった。

学生がNPOやボランティアに参加しようとする敷居が高く、「学生地域活動支援センター（仮称）」を機に人や物が動くような気がしてきたが、結びつける人材（コーディネーター）の育成が必要になる。

（ファシリテーター）

人口減少が進む中で、地域活動に関わりのなかった人を引き上げる（地域活動に参画してもらう）ことも中間支援組織の役割だと思う。そのためには、コーディネーターが必要となる。

人と人、人と地域、人と資源をつなぐのがコーディネーターだと思う。

コーディネーターはつなぐ役割ということだが、こちらが求める内容とボランティアが求める内容が異なる場合もあるので、難しいがそのところを見極めてつなぐ役割を担うことが重要である。

（ファシリテーター）

次回も引き続き、このプロジェクトの成果のまとめについて意見交換を行いたい。



次回の開催予定

今回委員から出された意見を参考にプロジェクトの成果案を取りまとめ、第2回推進会議において議論していただきます。また、関連する施策や事業に反映し、「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」を推進していきます。

なお、第2回推進会議は平成27年10～11月に開催する予定です。